

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 12日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒271-8580

住 所 千葉県松戸市南花島向町319

氏 名 執行役員工場長 今川 政弘

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-364-1231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

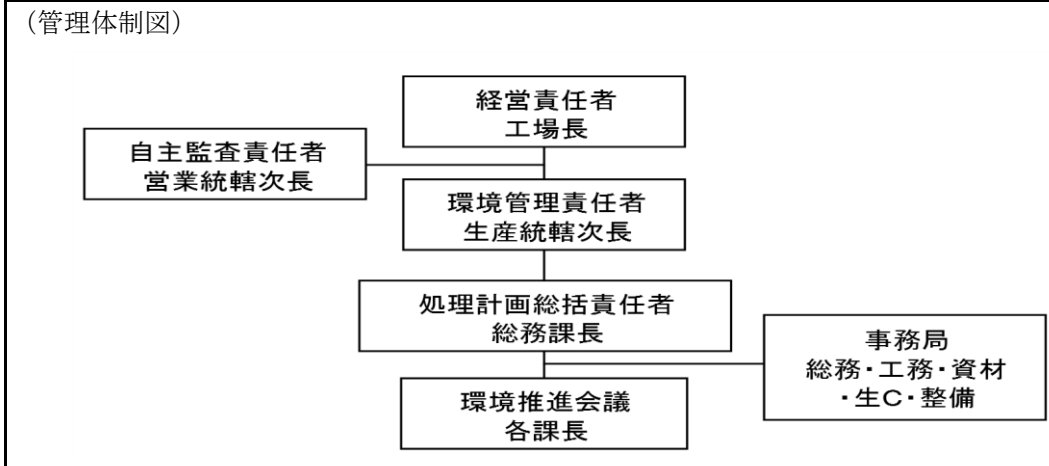
事業場の名称	山崎製パン株式会社松戸工場
事業場の所在地	千葉県松戸市南花島向町319
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：食品製造業 小分類：パン・菓子製造業
② 事業の規模	前年製造品出荷額 365億
③ 従業員数	1,417名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物の一連の処理の行程</p> <pre> graph LR A[製品製造工程] --> B[有償物] A --> C[動植物性残さ 廃プラスチック 汚泥] A --> D[廃油] E[工場設備等] --> F[金属くず・その他] B --> G[委託処理 (再生利用業者で処理)] C --> G C --> H[委託処理 (熱回収業者で焼却処理)] D --> I[委託処理 (焼却処理)] F --> J[有償物] F --> K[委託処理 (再生利用業者で処理・最終処分)] </pre>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底と処理を見直し、一部有償物としての売却を行い、 廃棄物の排出量を抑制している。 毎月の管理職会議の資料にて廃棄物状況報告を行い、分別強化の啓蒙活 動を徹底する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動植物性残さにつきましてはパン等に使用するフィリング類を最後まで 使い切ることを徹底させ、総重量を削減する。 廃プラスチック類につきましては、原料袋・粉袋を紙資源として活用で きるものを極力分別し、有償化を進めるとともに総重量を減らす。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：未使用包材を分別し有償化として売却 動植物性残さ：有償物として売却できるものを分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取り組みを引き続き継続して行う 分別の見直しをさらに図り、有償化を進め、排出物の抑制を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水処理 液糖、フィリングの分別 水回りにフィリング分別を呼びかける掲示物を設置			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 工場全体の節水を強化し、水の流入量を減らす。 器具を洗う前にフィリング・油類のふき取りを実施し、良い水質の状態を保つ。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別の徹底による排出量の削減 ・産業廃棄物から一部有償物へ移行 ・優良認定者へ委託変更		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も同様の取り組みを継続する。 廃プラスチックについては、処理方法を熱回収から固形燃料化への割合を増やしていく。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	排出量	1082.38 t	16733.9 t	1107.95 t	214.07 t	0 t	0.49 t	0.16 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	排出量	1060 t	16600 t	1100 t	210 t	0 t	0.4 t	0.15 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	15260.3 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	15140 t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	全処理委託量	1082.4 t	1473.6 t	1108.0 t	214.1 t	0.0 t	0.5 t	0.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	486.7 t	214.1 t	t	0.5 t	0.2 t	t
	再生利用業者への処理委託量	396.9 t	1473.6 t	486.7 t	214.1 t	t	0.5 t	0.2 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	685.5 t	t	621.3 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	廃油	蛍光灯	乾電池	
	全処理委託量	1060 t	1460 t	1100 t	210 t	0 t	0.4 t	0.15 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	485 t	210 t	t	0.4 t	0.15 t	t
	再生利用業者への処理委託量	390 t	1460 t	485 t	210 t	t	0.4 t	0.15 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	670 t	t	615 t	t	t	t	t	t